

一般社団法人てんじん（ぷらむ）地域連携推進会議議事録

1. 日時 令和8年3月16日（月）13：00～14：50

2. 場所 ぷらむ隣接事務所

3. 出席者 利用者家族 2名

福祉・経営の知見者 1名

職員 3名（法人代表・管理者・事務）

欠席者 地域の関係者 1名

4. 概要

会議（13：00～）

（1）議題

施設等のサービスの透明性・質の確保

利用者の日常生活について

経営状況の報告

BCPの策定状況について

施設等と地域の連携

障害についてのレクチャー

近隣からの苦情等の共有

利用者の権利擁護

虐待、事故、ヒヤリハットの報告

5. 会議内容詳細

①開会挨拶 法人代表より、お忙しいの中での参加に感謝を述べ、会議の目的（地域連携の強化と情報共有）を説明した。

② 出席者の紹介 出席者の紹介を行った。

③ 会議資料に沿って進行開始。

④ グループホームについて

施設概要 ぷらむ男性用、定員9名。平成24年4月開設。

つくし女性用、定員6名。令和5年9月開設。

利用者状況 生活状況 両ホームとも、現在は安定した生活を送っている。

日中活動 多くの利用者が生活介護事業所に通所している。

休日祝日 通所閉所日は、帰省・ヘルパー外出・ホーム在宅にて生活している

職員体制 管理者（サビ管兼務）1名、生活支援員8名、世話人4名、夜間支援員（主に生活支援員兼務）で構成。

⑤ 経営状況の報告

令和6年度は、重度支援対象者の増加と職員増員による加算収入等が増えた為に黒字になったことを報告した。

食費・共益費の清算についても定期的に収支報告を行い従来通り年度末で清算

(返金又は徴収) していることを報告した。

⑥ BCP（事業継続計画）の策定について

感染症や災害発生時の対応計画を資料に沿って説明を行った。

⑦ 障害についてのレクチャー

知的障害とは、知的機能の障害が発達期にあらわれ、日常生活に支障が生じている

ために何らかの特別な支援を必要とする旨の説明を行った。

⑧ 近隣からの苦情の共有

ご近所の皆様のご理解を示してくれているので特に無いことを報告した。

⑨ 虐待、事故、ヒヤリハットの報告

ぶらむにて事故扱い6件、ヒヤリハット扱い3件、つくしにて事故扱い2件が発生

して対策を行っていることを報告した。

⑩ 欠席者からの報告

地域の関係者としての参加予定者様より、都合が悪くなったとの連絡を受け前日に

施設見学と説明を行い、ご意見ご要望等を聞き取ったことを報告した。

⑪ 質疑応答・意見交換

利用者家族より、資格保持者の割合の問い合わせあり。介護福祉士6名・強度行動

障害研修修了者4名・社会福祉士1名と報告。

利用者家族より、当施設は職員を多く確保出来ているが、ご自身が福祉の仕事に携わっている関係もあり人材不足で困っている施設や外国人雇用を進めている施設もあるとの問題提起あり。

福祉・経営に知見のある方より、外国人労働者に関しては資格取得やビザの関係で断念して帰国する方も多いと報告あり。

利用者家族より、年度末頃に施設合同食事会を開催してくれて有難いとのことだが、保護者同士が顔を合わす機会を増やして欲しいとの要望あり。各保護者は定期的に面会・衣替え・嗜好品持参等で施設を訪問しているが重なることが無く、法人全体行事を含め年3回は会っているが、今後の検討課題として衣替えの日時を指定して保護者の交流を深める等を考慮する。

利用者家族より、週末の過ごし方について地域の市民センター利用の提案あり。現状は帰省したり、ヘルパー活動で外出したり、職員と昼食の買い物に行ったり利用者毎に違うが、将来（親の高齢化等で帰省縮小）を見据えて地域の市民センター利用を追加することで地域の皆様との交流を深めることに繋がるので検討する。

福祉・経営に知見のある方より、地域行事への参加と施設行事の近隣住民の招待を再開させたら良いのではとの提案あり。コロナ前は毎年秋に近隣神社の神輿を担いで地域を回ったり、年末は餅つきに招待したりしていたがコロナになってからは自粛している。現状5類解除されているが感染症対策や温暖化による熱中症対策を考慮すると時期的なこともあり困難になっている。

BCP 感染症について

日常の健康にも通じるが訪問診療を導入していることもあり何かあれば医師の指示のもとに対応するので安心出来るとの評価あり。

BCP 自然災害について

ふらむは高台にあり水害に強く停電発生時には発電機・公用車バッテリー・非常電源があるので必要最低限の電源確保が出来ている。井戸水なので水に関する不安は少ないが非常時用にペットボトル・冷凍食品等も準備しているので、つくし利用者も災害発生時には移動させたりして対応可能なので評価を頂いた。

- ⑫ 閉会あいさつ 出席構成員に謝辞を述べ、来年度も地域連携推進会議を開催する旨を説明した。